

# 第2回 「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」

【別紙1】

## 1. 地域課題について見直す

令和4年度「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」地域課題

1) 令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続を実現するための取組みについて（熊本県）

2) 政令指定都市移行10年 今後の熊本市のあり方について（熊本市）

地域課題1	熊本県 企画振興部 企画課
課題タイトル	令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続を実現するための取組みについて
課題の概要 (背景や理由等)	令和2年7月豪雨で大きな被害を被った球磨川流域市町村※及び津奈木町(以下、被災地域)では、被災以前から人口減少と地域経済活動縮小の悪循環に陥っていた。中でも、15～19歳の若者の人口流出が顕著であり、当該地域を持続させるためには、若者が「就きたい」と思える仕事の創出や「来たい」と思える魅力ある地域づくりなどの取組みが必要と考えられる。 (※八代市、人吉市、芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村の12市町村) そこで、被災地域のいずれかの市町村を対象に、 <u>地域の特徴等を示すデータを分析して課題を見つけていただき、その地域でのフィールドワークや自治体へのヒアリングを通して、課題を解決できるような政策を検討していただきたい。</u> また、政策アイデアコンテスト終了後に自治体と連携して実施する等、 <u>実現可能性のあるアイデア</u> を是非提案していただきたい。
備考	地域の課題については、各種統計データ(※1)や各市町村が策定している「復興計画」(※2)を参考に分析してください。 (※1) RESAS ( <a href="https://resas.go.jp/#/13/13101">https://resas.go.jp/#/13/13101</a> )、 e-stat ( <a href="https://www.e-stat.go.jp/">https://www.e-stat.go.jp/</a> ) 等 <b>(※2) 人吉市復興計画「第5章 未来につながるまちづくり」 八代市坂本町復興計画「第4章 復興に向けた取り組み」 球磨村復興計画「第5章 復興に向けた計画体系」 等</b>

## 2. 政策について調べる

- 政策の論理的な考え方について学ぶ
- 課題のとらえ方について学ぶ
- 取組みや戦略の方策について学ぶ

地域課題2	熊本市 政策局 総合政策部 政策企画課
課題タイトル	政令指定都市移行10年 今後の熊本市のあり方について
課題の概要 (背景や理由等)	本市は本年4月に政令指定都市に移行して10年の節目を迎える。 また、人口減少の加速やコロナ禍をはじめ社会経済情勢の変化等に対応し、将来にわたり活力と魅力にあふれた新しい熊本市を創造していくため、本市の将来を担う学生の皆様に、政令指定都市移行後の10年を振り返るとともに、熊本市が目指すべき10年後の姿について検討していただきたい。  今までの10年間について検証 → 問題提起 10年後の目指すべき姿について → 課題を解決するための政策提言
備考	

復旧・復興に向けた基本施策【第4章】

1 被災者のくらし再建とコミュニティの再生

(1) 被災者に寄り添った生活支援

- ① 被災者に対する支援体制の強化
被災者の生活再建支援・心身のケア、被災者に寄り添ったきめ細やかな支援
② 生活再建支援に向けた環境整備
相談体制の充実、きめ細やかな情報発信

(2) 住まいの再建・確保

- ① 当面の住まいの確保、被災住宅の応急復旧支援
住居の確保が困難な被災者等に対する住まいの再建支援
② 被災住宅等の解体・撤去支援
公費による解体・撤去支援、自費で解体・撤去した場合の費用支援/住宅等に流入した災害廃棄物・土砂の撤去支援
③ 長期的な住まい確保の支援
住宅融資等にかかる利子助成/地盤のかさ上げや高台移転の検討/災害公営住宅の整備による長期的な住まいの確保

(3) 暮らしを支える生活基盤等の復旧

- ① 生活基盤等の復旧
市民生活に直結するインフラやライフラインの応急復旧及び早期の本格復旧
② 公共交通機関の復旧
被災した交通インフラの代替手段の確保、くま川鉄道やJR肥薩線の早期復旧
③ 文化財の復旧
地域の宝である国宝、国や県の指定文化財等の早期復旧に向けた支援

(4) 地域コミュニティの再生

- ① 地域コミュニティの活動拠点の再生支援
地域コミュニティの活動拠点となる自治公民館等の早期再建支援/地域の神社、お堂、祠等の未指定文化財等の早期復旧に向けた支援
② 地域コミュニティの再構築に向けた支援
地域コミュニティの再構築に向けた、地域ごとの「復興まちづくり計画」策定/新たなコミュニティの構築支援

(5) 子ども達に向けた支援

- ① 子ども達に向けた支援
子ども達の心身のケアと継続的な見守り/仮設住宅から通学する児童生徒の通学支援/ICT機器等の環境整備の充実と活用

「緑の流域治水」に関する本市の基本的な考え方

- ・流域全体で水害を軽減させる治水対策である「緑の流域治水」については、国・県及び流域市町村などあらゆる関係者が一体となって、しっかりと取り組みます。
・国、県及び流域市町村において策定する「球磨川水系緊急治水対策プロジェクト」と歩調を合わせて、治水安全度の向上を目指します。
・これらの対策については、下流域にも配慮しながら取り組むとともに、治水対策、治山対策いすれについても、国や県、関係機関と十分に連携を取りながら、防災・減災対策に取り組みます。
・集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、雨水浸透槽の設置等、地域の特性に応じた対策に総合的に取り組みます。
・新たな治水の方向性を踏まえた治水・防災対策として、地域と連携した水田貯留機能のフル活用による「田んぼダム」の推進を行います。

未来につながるまちづくり【第5章】

○「ここに残りたい、ここに住み続けたい」と市民の誰もが感じることができ、国内外の多くの方が「訪れたい、住みたい」と思えるような未来型復興

○人吉球磨地域全体の発展、地方都市の再生モデル化

1 豊かな自然と歴史、文化が融合した住みたくなるまちづくり

2 災害に強く生活の利便性を向上させる安全安心なまちづくり

- ①球磨川への愛着を育み、高める景観づくり
②回遊性を高めるウォーカブルシティの形成
③公共施設の集約化を始めとしたコンパクトシティの形成
④自動運転車やスマート公共交通の導入といった暮らしやすいまちづくり
⑤すまいの創出に向けた仕組みづくり
⑥災害に強いゼロエネルギー住宅の推進

- ①DXの推進による災害に強いスマートシティの形成
②デジタルを最大限に活用したコミュニティづくり
③スーパーシティ制度等を活用した開かれたまちの形成
④大災害に備えた広域避難・支援拠点等の形成

3 災害に負けないまちづくり

(1) 災害に強い都市基盤づくり

- 災害に強い社会基盤の整備
① 道路・橋りょうの早期復旧・強靱化 ② ライフラインの強化 ③ 情報基盤の強化
④ 公共施設の復旧 ⑤ 防災拠点の強化
被害が甚大な地域の土地利用

大規模災害により社会基盤やライフラインが寸断された場合等に備えた代替措置の確保・多重化/今後も浸水が想定される区域における居住誘導を含めた土地利用の検討

(2) 確実な避難を実現する仕組みづくり

- 避難計画等の見直し
緊急避難場所及び避難ルートの確保
① 身近で安全に避難できる緊急避難場所の確保 ② 避難ルートの確保
避難所の見直し・機能強化
情報伝達・避難誘導対策
① 伝達手段の多重化とわかりやすい情報発信
② 被災地の災害リスクの「見える化」による避難誘導
市の防災体制強化
① 地域防災計画等の見直し
② 防災・危機管理専門職の配置及び職員の防災対応能力向上
③ 災害応援協定のさらなる推進

地域防災計画、災害対応マニュアルや業務継続計画、球磨川タイムライン等の見直し・改善による防災体制の強化/身近で安全に避難できる緊急避難場所の確保、避難ルートの多重化による「逃げ遅れゼロ」/緊急時の防災・避難情報を伝える情報伝達機能の多重化/災害リスクの「見える化」に向けた環境整備の推進/防災・危機管理専門職の配置等による市の防災対応力強化

(3) 地域全体で災害に備える体制づくり

- 共助の仕組みづくり
① 地区防災計画の策定 ② 避難行動要支援者の避難支援体制強化
③ 地域の防災体制強化
共助を支える人づくり~自主防災組織や消防団の体制強化~
防災意識の醸成
① 避難意識の定着化 ② 災害の記憶の伝承
各家庭等における災害への備え

自主防災組織の活性化、地域防災力の向上、一人ひとりの防災意識の向上に向けた取組/避難行動要支援者の確実な避難につなげる支援体制の再構築/災害時に生きる実践的な研修、地域防災リーダーの育成、資機材の配備等の支援

3 人吉らしさに溢れ、「ここに残りたい」が実現できるしごとづくり

4 地域全体で人を呼び込むしごとづくり

- ①スマート林業のトップモデル形成
②地域資源をフル活用したゼロカーボンシティの形成
③特色を生かしたしごと町屋集積等による観光地の面的魅力向上
④起業・創業を生み出す仕組みづくり
⑤未来型復興による持続可能な地域づくり

- ①地域特性を活用した知の集積拠点づくり
②サテライトオフィスの確保や空き家活用による移住・定住環境づくり
③インバウンドを重視した観光コンテンツの構築
④「おひとよし」ファンクラブ形成による積極的な情報発信
⑤地域総ぐるみで故郷出身者を支えるネットワークづくり



# KUMAMOTO CITY MASTER PLAN 2016-2023

熊本市第7次総合計画概要版

復  
旧  
復  
興  
そ  
し  
て、  
そ  
の  
先  
の  
未  
来  
へ



## まちづくりの 8つの分野

- 互いに認め合い、  
だれもが平等に  
参画できる社会の実現
- 安全で心豊かに暮らせる  
地域づくりの推進
- 生涯を通して健やかで、  
いきいきと暮らせる  
保健福祉の充実
- 豊かな人間性と  
未来へ飛躍できる力を  
育む教育の振興
- 誇るべき良好な  
自然環境の保全と  
地球環境問題への  
積極的な対応
- 経済の発展と熊本  
の魅力の創造・発信
- 豊かな自然環境  
をいかした活力ある  
農水産業の振興
- 安全で利便性が高い  
都市基盤の充実

「上質な生活都市」の実現に向け、  
市民の暮らしに関わる  
まちづくりの8つの分野において、  
様々な取組を行います。



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、世界のすべての人が幸せになるためにみんなで取り組む17の目標のことです。本市は2019年、国から「SDGs未来都市」に選定されました。国際社会の一員としてグローバルな視点を持ち、さまざまな施策においてSDGsの理念を踏まえた取組を行っていきます。



このマークは、「武者返し」と呼ばれる熊本城の石垣をモチーフとした本市独自のロゴマークです。熊本城の石垣のように、SDGsの17のゴールを一つひとつ積み上げることで、持続可能な社会を実現したいという想いが込められており、市民・企業・行政が一体となって取り組む象徴として、積極的に活用していきます。

編集・発行：熊本市 政策局 総合政策課 政策企画課  
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号  
TEL.096-328-2035 FAX.096-324-1713

## 第7次総合計画

総合計画は、めざすまちの姿を描き、その実現のためにどのように取り組んでいくかを示した計画です。

第7次総合計画では、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたい、  
「上質な生活都市」を目指しています。  
一緒に私たちのまちの未来について考えてみませんか？

熊本市第7次総合計画に関する詳細は、熊本市第7次総合計画ガイドブック又は、熊本市ホームページをご覧ください。

熊本市 総合計画 [www.city.kumamoto.jp/](http://www.city.kumamoto.jp/)

スマートフォン、携帯電話等のQRコードリーダーで  
読み取ってください。





## めざすまちの姿 上質な生活都市

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域のなかで、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。そのような、**市民が住み続けたい、だれもが住んでみたいくなる、訪れたいなるまち、「上質な生活都市」**を、私たちは目指します。



## まちづくりの**基本理念**

まちづくりの原点は、「地域」、  
そして、そこに暮らす「市民」です。

熊本地震では、人と人との絆や助け合いといった地域コミュニティの重要性が再認識されました。外国人を含めた多様な市民が豊かな生活を送るためには、生活の基盤となる地域において地域主体のまちづくりを進め、コミュニティを維持し、安心して暮らせる住みやすい地域を築くことが必要です。そこで、まちづくりの主役である市民と行政がそれぞれ果たすべき責任や役割を分担し、互いに補充し、連携しながら、自信と誇りを持って次の世代に引き継げるようなまちづくりに取り組んでいきます。



## 熊本地震からの復旧復興



### 被災者の生活再建に向けた トータルケア

- 恒久住宅の確保に向けた支援
- 生活再建後の孤立や健康悪化を防止するための見守りやコミュニティ形成支援
- 罹災状況などの被災者への復旧支援
- 心の健康の確保に向けた支援

### 防災・減災のまちづくり

- ライフラインとインフラの強靱化
- 校区防災連絡会、避難所運営委員会の設立・運営支援
- 地域防災リーダーの育成
- 要配慮者の視点に立った避難所環境の向上と福祉避難所の拡充

### 熊本地震の記録と記憶の伝承

- 小中学校における防災教育の充実
- 大規模地震を想定した避難訓練の実施
- 震災記録誌や復興手記集の活用と震災関連文書の保存
- 国内外への教訓の発信と被災地支援



## まちづくりの重点的取組



### 1 安心して暮らせるまちづくり

#### 安心して子育てができる 少子化対策の推進

- 保育所入所待機児童ゼロの取組、子育てにかかる経済的負担の軽減や子育て不安の解消
- 仕事と子育て両立支援、児童虐待防止体制の強化

#### 子どもたちが いきいきと育つ環境整備

- ICTの導入による学習環境や学力の向上対策、教職員の働き方改革
- 子どもの貧困対策や放課後児童対策、生涯学習の充実

#### 多様な世代が生きがいをもって 豊かに暮らせる 自主自立のまちづくり

- 地域団体との連携強化や支援の充実
- 地域団体の後継者育成などのまちづくり支援機能の強化、市民公益活動の推進

#### 健康で暮らしやすい 生活都市づくり

- 住み慣れた地域で生活できる地域包括ケアシステムの深化・推進
- 校区単位の健康まちづくりなど生涯を通じた健康づくり、住民同士で支え合う地域福祉活動

### 2 ずっと住みたいまちづくり

#### 地域拠点に都市機能が 集積した都市づくり

- 中心市街地と地域拠点での商業・医療など暮らしに必要な機能の維持・確保
- 歩いて楽しめる都市空間の創出

#### 交通利便性が高い 都市づくり

- 日常生活を支えるバス路線網の再編・運行体制の見直し
- 公共交通と自動車交通の最適な組み合わせと幹線道路網の整備による交通渋滞対策

#### 地域経済の振興

- 創業者の増加・経営安定に向けた取組の推進、中小・小規模事業者の事業承継への支援
- 成長産業分野における新製品開発支援の強化

#### 安定した雇用の創出

- 新たな技術革新に対応できる産業人材の育成・派遣
- 企業誘致の推進、地場企業の成長支援による雇用の創出

### 3 訪れてみたいまちづくり

#### 歴史や伝統文化の 継承・発展と観光の振興など 熊本の魅力の創造・発信

- 熊本の質実な復旧と公開、データ分析に基づく観光戦略
- 熊本城及び水前寺江津湖公園などの観光客の受入環境整備

#### 国内外から多くの人が集う 交流とにぎわいづくり

- 熊本の特色をいかしたMICEやスポーツ大会などの誘致
- 国内外との交流促進、多文化共生のまちづくり

#### 世界が認めた地下水の保全と 繰りかえされるまちづくり

- 地下水の質と量の保全、くまもと水ブランドの発信
- 新たな緑の創出、プラスチック対策の推進

#### 安全で良質な 農水産物の魅力発信

- ICTやAI技術を活用したスマート農業の推進
- 高付加価値化、ブランド化による国内外への販路拡大



# 第2回 「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」

## 3. 【情報・データを収集する方法】

- 地方自治体のデータをまとめたアプリ（地域経済情報システム・RESAS）
- 政府統計データ「e-Stat」を利用する。



「RESAS」で検索しても良い  
<https://resas.go.jp/#/43/43505>



「estad」で検索しても良い  
<https://www.e-stat.go.jp/>



その他、適宜以下の方法も用いても良い

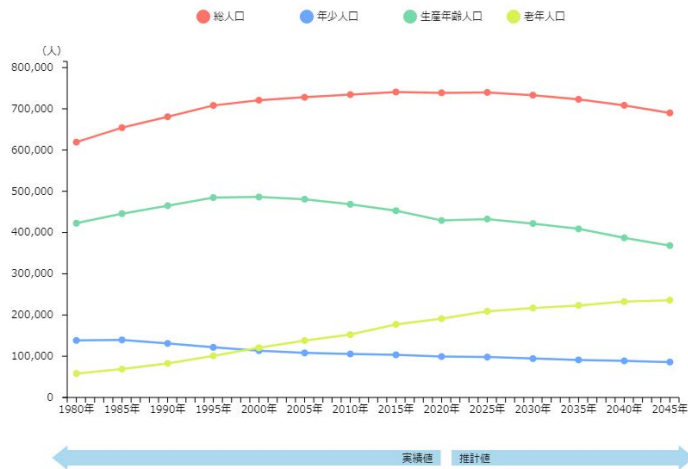
- 地図・衛星画像
- 地方自治体のHPなどインターネットを活用する
- アンケート、インタビュー、ヒアリング
- フィールドワーク
- 新聞・雑誌
- 文献

# 3. 【情報・データを収集する方法】

## • RESASによる地域データをグラフにした事例 (地域の特徴などを示すデータ)

人口推移

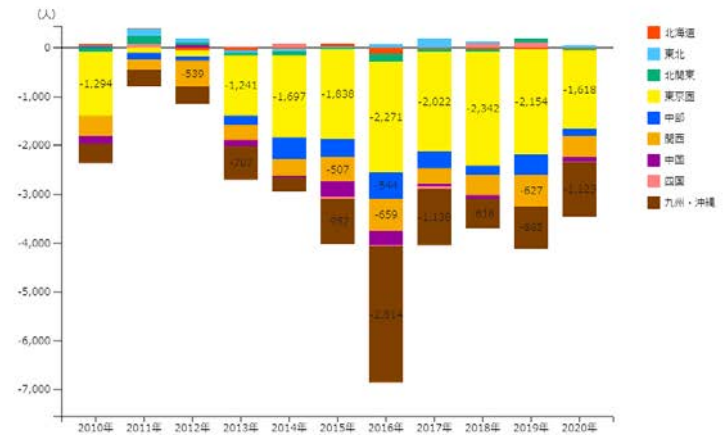
熊本県熊本市



【出典】  
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
【注記】  
2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。  
【その他の留意点】+

地域ブロック別純移動数

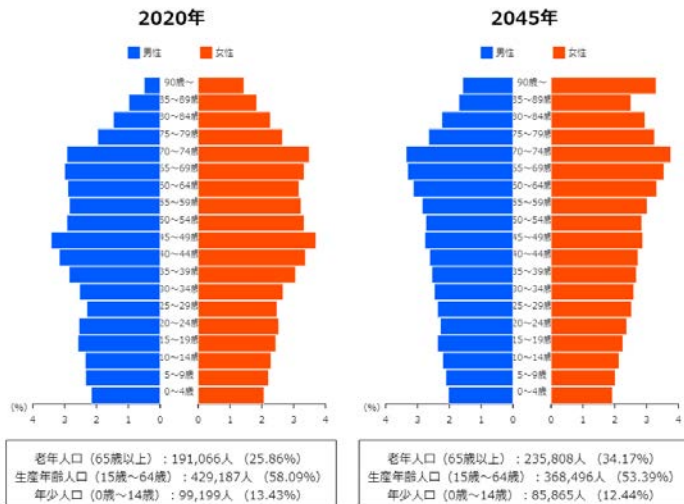
熊本県



【出典】  
総務省「住民基本世帯人口移動報告」  
【注記】  
北海道：北海道、東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、北関東：茨城、栃木、群馬、東京都：埼玉、千葉、東京、神奈川、中部：新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、岐阜、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、四国：徳島、香川、愛媛、高知、九州・沖縄：福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄  
2017年までは日本人のみ、2018年からは外国人を含む移動数を表示している。  
【その他の留意点】+

人口ピラミッド

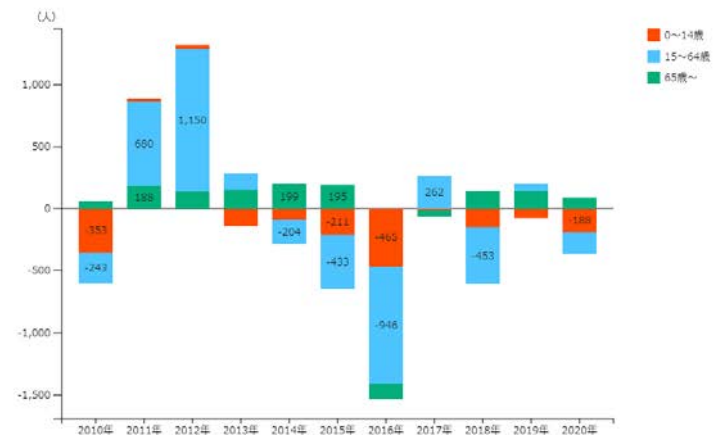
熊本県熊本市



【出典】  
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」  
【注記】  
2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。  
【その他の留意点】+

年齢階級別純移動数

熊本県熊本市



【出典】  
総務省「住民基本世帯人口移動報告」  
【注記】  
2017年までは日本人のみ、2018年からは外国人を含む移動数を表示している。  
【その他の留意点】+

# 第2回 「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」

## 4. アイデアを広げる分析方法

過去の発表からアイデアや分析方法・表現方法を調べる

一般社団法人 大学コンソーシアム熊本  
Consortium Kumamoto

English 中文 한국어

ホーム 大学コンソーシアム熊本について 事業内容 加盟機関 在学生の方へ 県内大学進学を希望する高校生へ 地域の方へ 教員免許状更新講習

大学コンソーシアム熊本  
進学ガイダンス  
セミナー 2022  
2022年 7月 10日(日)  
会場：崇城大学 13:00-16:30

高校生のためのイベントだよ  
熊本の大学のこと  
もっと知りたい人、集まれ!

熊本で  
進学したい!  
自分で  
見つける!

進学相談も  
うれしいかも!

PICK UP

第2回「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」参加者募集

大学コンソとまちと県内企業等情報サイト

令和3年度成果報告会

One-stop  
留学生ワンストップ窓口  
Consultation Service for international students

留学生熱意のための多言語リーフレットを作成しました!

TOP RESASとは 地方創生☆政策アイデアコンテスト 審査結果 最終審査会 全国審査員 地方審査 応募方法 受賞者インタビュー よくある質問

地方創生☆  
政策アイデア  
コンテスト  
2021

アイデア求む!

RESAS V-RESAS  
まずはチェック!!

主催 / 内閣府地方創生推進室  
共催 / 経済産業省

チラシはこちら

地方に  
光  
さす!

インターネット検索エンジンから  
『地方創生☆政策アイデアコンテスト』を検索

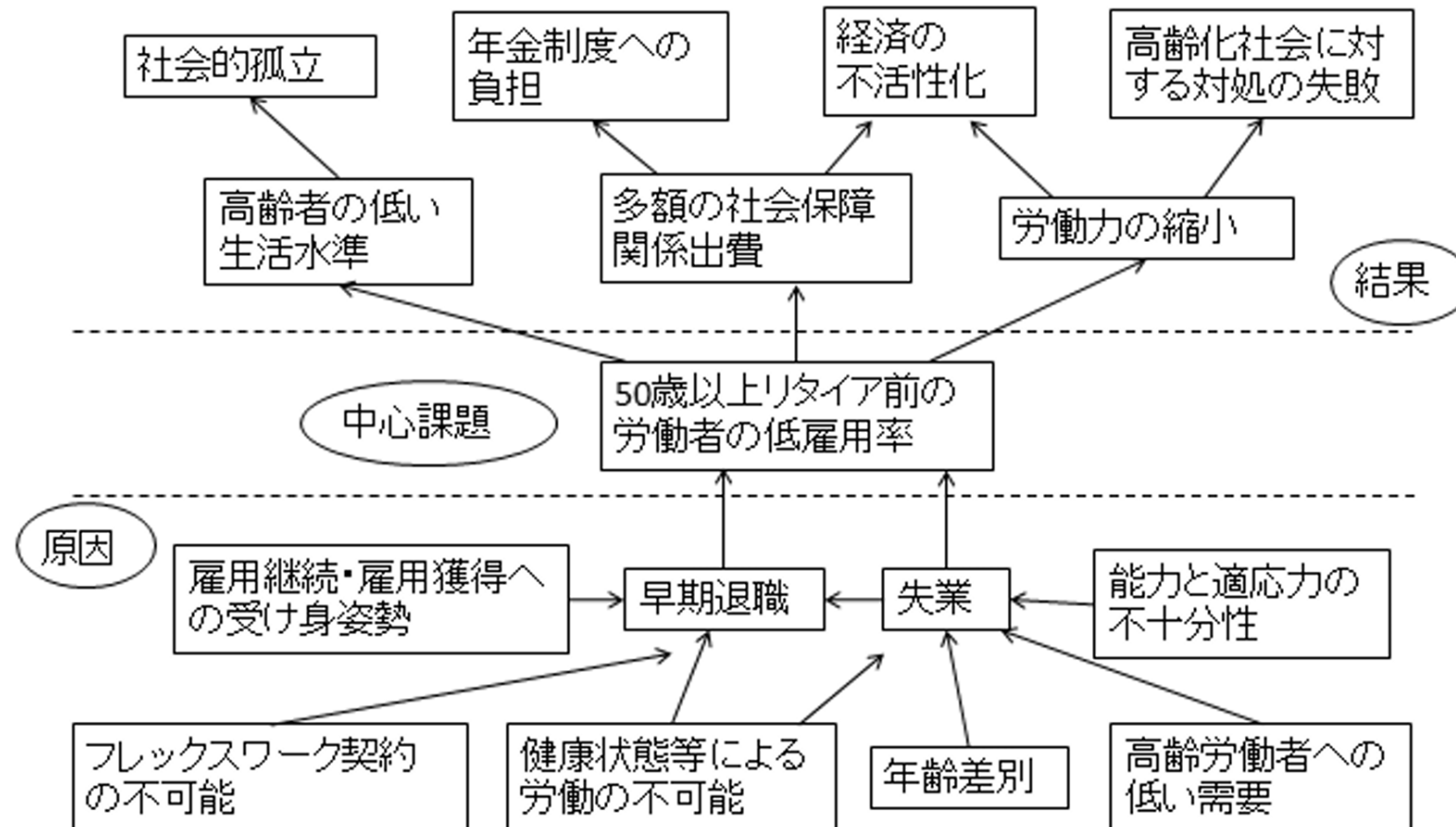
5/20 (金) 18:00~  
エントリーのための説明会を実施しました。  
説明資料を掲載しています。

インターネット検索エンジンから  
『大学コンソーシアム熊本』を検索

## 4. アイデアを広げる分析方法

### アイデアの発散やロジックの整理・分析方法

ツリー分析：問題分析系図の例：50歳以上リタイア前の労働者の低雇用率について





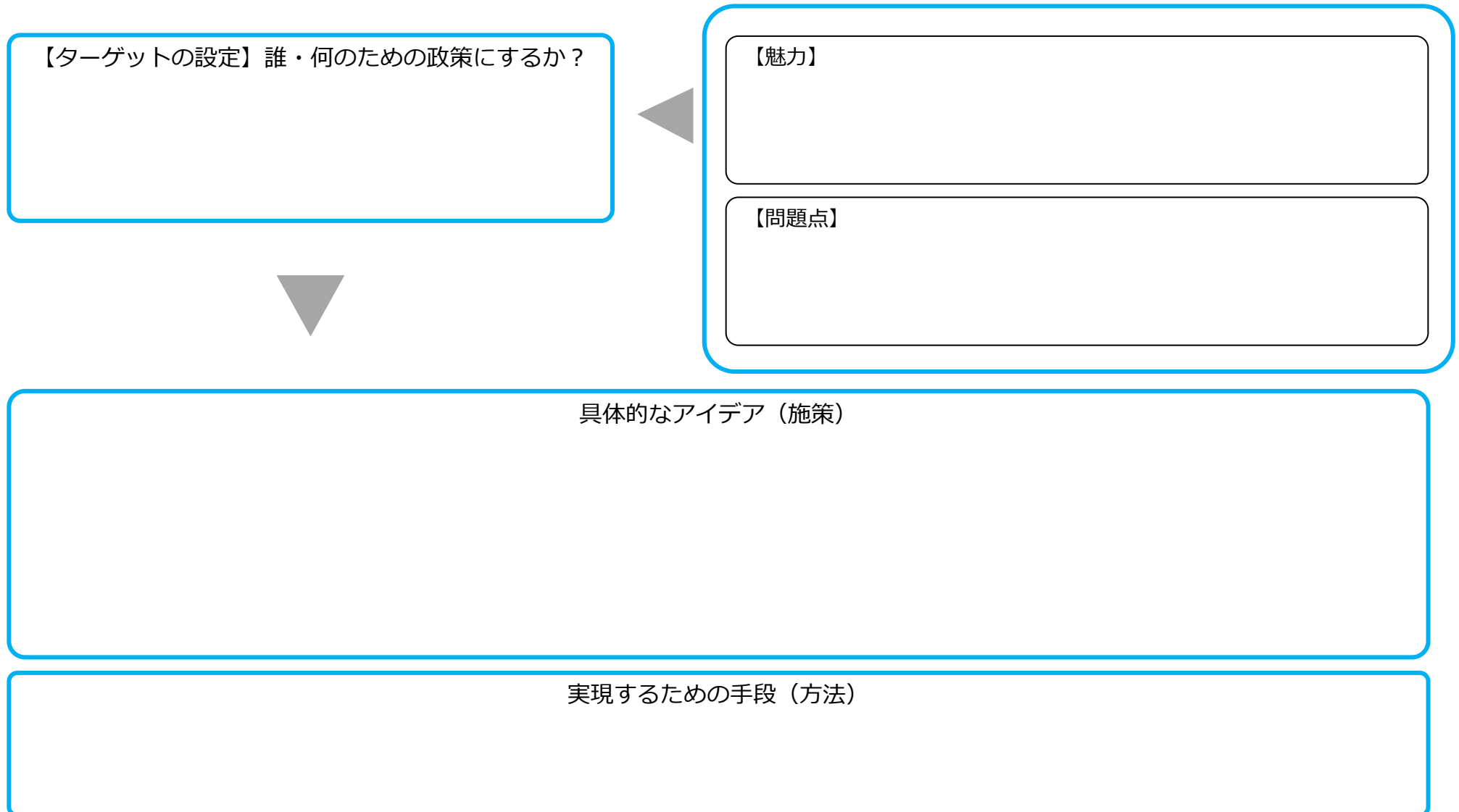
# 第2回 「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」

## 4. アイデアを広げる分析方法 アイデアの発散やロジックの整理・分析方法

### SWOT分析

Strength : 強み : 他には負けないことは？	Weakness : 弱み : 何とかしなければならぬのは？
<b>地域の魅力</b>	<b>地域の課題・問題</b>
Opportunity : 機会 : チャンスと考えられるのは？	Threat : 脅威 : 変化に追隨できていないことは？
<b>プラス要因・外部環境</b>  外部環境 他国・他地域の社会経済的發展 他国・他地域からの社会経済的圧力 世界・国内の政治情勢	<b>マイナス要因・外部環境</b>  外部環境 他国・他地域の社会経済的發展 他国・他地域からの社会経済的圧力 世界・国内の政治情勢

## 5. 政策アイデアの検証・整理する





## 5. 政策アイデアの検証・整理する

アイデアによって問題点がどのように解決できるか？  
予想される効果・実現させたい効果

※収集した情報から、仮説を考え、その根拠を示す。  
(なぜそう言えるのかを示すエビデンスを探そう)

アイデアによって予想される問題点の解決以外の  
相乗効果・実現させたい相乗効果

※収集した情報から、仮説を考え、その根拠を示す。  
(なぜそう言えるのかを示すエビデンスを探そう)

## 6.最終提出物：企画書の作成 (プレゼンテーションデータ or ・スライド資料 PDF)

